



Wonderful

特集

Days

グアム

in GUAM

—伊予市中学生海外派遣事業—



伊予よし
畑中靖祥 団長
(伊予中学校校長)

8月14日から22日までの間、市内5校の中学2年生26人が、アメリカ領グアムを訪問しました。この事業は、夏休みを利用して、海外で生活体験をすることで、中学生に国際感覚を養ってもらおうと平成13年度から毎年実施されています。

異文化に触れ、現地の人々と友好を深めたグアムでの7日間を報告してもらいました。

初めて食べた
「スターフルーツ」



フルーツワールドは、西予市出身の方が作った農園で、乗り物に乗って、園内を見て回ると、見たことのないフルーツがたくさんありました。そこで、スターフルーツというものを食べさせてもらいました。不思議な味だったけど、おいしかったです。

この日は、「恋人岬」、「フルーツワールド」をはじめ、多くの場所を見学しました。恋人岬からの眺めは最高で、グアムの美しい海がとてよく見えました。初めて見る海や大自然にとても感動しました。



1st day
なほらま なみ
猶原奈美さん 坪内梨香さん
(伊予中) (伊予中)
グアム市内見学



2nd day
白石穂波さん (中山中) 宮崎咲季さん (中山中)
水泳教室



2nd&3rd day
長岡美紀さん (港南中) 石野花佳さん (港南中)
英語教室



3rd day
中釜翼さん (中山中) 高本直明さん (中山中)
生活体験実習

水泳教室では、以前、ゲームのオリンピック選手に泳ぎを指導していたフランクさんから、クロール、平泳ぎ、背泳ぎを教えてもらいました。英語教室でお世話になったピーター先生は、フランクさんが言ったことを訳してくれました。フランクさんは私たちにお手本を見せてくれ、とても上手かったです。

最後は、みんなで一緒にゲームをしました。ゲームでははじめはルールも何もわからなかったけど、先生は、私たちに一生懸命教えてくれました。

プールは、一番深い所では2mもあり、ゲームの途中で15m地点まで泳いでいくと足がつかなくなったので、みんなびっくりにしていました。

英語教室では、4日間にわたってピーター先生、ケン先生に教えてもらいました。

授業では、英語のゲームをしたり、屋外に出て英語を使いながらドッジボールをしたりしました。また、帽子やぬいぐるみ、食器を使ったりして、楽しく英語を学ぶことができました。生活の中で実際に使うような会話ばかりで、すごく勉強になり、「日本の授業とは勉強方法が全然違うんだな。」と感じました。

もう少し英語力をつけて、またGRAMに旅行に行く機会があったら、ぜひ、ふたりの先生にお会いしたいと思います。本当に感謝しています。

フランク先生、
ピーター先生、
ケン先生に
感謝！

この日は、生活体験実習で「GPO(GRAM・プレミアム・アウトレット)」というファーストフード店がいっぱい並んでいる所へ行き、自由に食事を取りました。

中には、日本、中国、イタリアなどさまざまな国の料理店が立ち並んでいました。僕たちは、「バーガーキング」というハンバーガーショップに行き、ラージサイズ(日本でいうとMサイズ)のセットを頼みました。やっと頼んだものが来たと思ったら、大きさが日本の倍くらいあったので、食べるのに苦労しました。ラージサイズの上にはキングサイズがあり、隣の人が頼んだのを見ると、ハンバーガーだけでおなかがいっぱいになりそうでした。



ピーター先生(右)、ケン先生(左)による英語教室

水泳教室ではフランク先生にお世話になりました！





現地の人たちによるダンスパフォーマンス

グアム information

- 首都 ハガニア
- 面積 549km²
(淡路島と同じくらい)
- 人口 約16万人
- 公用語 英語・チャモロ語
- 時差 日本の時刻+1時間

グアムの人、ほとんどが泳げないと聞いてビックリ。潜るのは好きでも、ゴーグルが外れると溺れてしまうのだそう。

社会見学では、ピーター先生と一緒に「グアム大学」の図書館へ行きました。グアムの大学生は通路で会ったりしたとき、手を振ったり、声を掛けたりしてくれました。図書館には、400年〜500年前には世界一速かったという船の模型などがありました。また、大学の敷地内にある博物館には、グアムの歴史に関する物がたくさんあり、中でもミクロナシアについての本はすべてそろっていて、ここにしかない本もあるということでした。



3rd day
谷岡風香さん (下灘中) 西村美有紀さん (下灘中)

社会見学

この日は、「FAIRFARIBEE」でマリンスポーツをしました。海に入るとその浅さときれいな魚がいることに驚きました。サンゴで足を切ったり、ウニに刺されるといふハプニングもありました。また、現地の人々がダンスを見せてくれました。3人の女の子が出てきて、腰をふるダンスをし、男の人が炎のついた棒を持って現れて、パフォーマンスをしてくれました。その後、みんなで腰ふりダンスをしました。おしりをたたかれたりもして、最初はみんな怖がって見ていましたが、時間がたつと手拍子も入って盛り上がりました。

「水に入ると10歳若返る」という伝説の洞窟に入った!

4日目は、ジャネスさんという学生も加わって、テールマナーを学んだり、トラップで英語版の「神経衰弱」をしたりしました。最初はルールがわからず大変でしたが、自分が札を取れた時はうれしかったです。この日は、ケン先生に会うのは最後の日だったので、みんなで色紙を書いて渡しました。二人の先生のおかげで楽しく英語を学習することができました。また二人の授業を受けてみたいです。



4th day
井上真唯子さん (伊予中) 中川恵里沙さん (伊予中)

マリンスポーツを 楽しみながら英語研修



4th&5th day
篠崎陽香さん (港南中) 大石彩加さん (港南中)

英語教室

今日は、GRAMで一番の大きさを誇る「マイクロナシアモール」へ行きました。この場所はともかく、地図を渡されても迷ってしまっていました。

昼食を取った後、みんな家族や友達にたくさんのお土産を買っていました。店員さんの英語の質問に答えるのになかなか苦勞していました。そんな時、店員さんは一生懸命に簡単な日本語を使って対応してくれました。そのおかげで、とても面白い物がしやすくなりました。GRAMは温かい人たちばかりでした。

モール内は、自由時間内で全部回りきることはできませんでしたが、自分たちの力で英語を使って食事をしたり、買い物をしたりしてとても貴重な体験ができました。



5th day
岡田 純さん (伊予中) 菅 晃一さん (伊予中)
社会見学・生活体験実習

私たちのしゃべる英語と現地の人たちの英語では「速さ」と「発音」が違う…。



「ウォーターパーク・ターザ」で

生活体験実習では、英語を使って食事を注文



自分から積極的になることが大切!

今日は、現地の学生とパーベキューをして交流しました。初めはドキドキして、「本当に話しかけられるかな。」と不安がありました。交流が始まってからも、話そうという気持ちはあってもなかなか話しかけることができませんでした。「Excuse me」「Hello」などと少しずつ話すことが出来るようになってから、自分たちも現地の学生も緊張がほぐれてきました。片言の英語でしたが、みんな楽しく会話ができました。

その後、ヤシの実を使ったゲームをしました。1列に並んで、ヤシの実を上下交互に渡していくという簡単なゲームでしたが、英語を使わないと早く渡せないで、自然と英語が出てきました。現地の学生たちに自分の英語が通じたことが、何よりもうれしかったです。



5th day
二宮りかさん (上灘中) 奥村 葵さん (上灘中)
現地学生との交流会

私たちは、昨夜の学生と合流して、「ウォーターパーク・ターザ」へ行きました。ターザには、上り坂をのぼるスライダーやおよそ90度のすべり台などさまざまなアトラクションがありました。

ここでは、ピーター先生の考えた流れるプールを逆走するゲームをしました。流れが速くて難しかったけど、優勝した人はチヨコレートがもらえるので、みんながんばっていました。

また、昼食の時に、ジュースを買おうと「ラムネ」を頼んだのですが、「レモネード」と聞き間違えられてしまい、「私たちの英語の発音はまだまだだな。」と思いました。でも、片言の英語でも理解しようとしてくれてうれしかったです。



6th day
橋本結花さん (港南中) 高橋瑞紀さん (港南中)
英語研修を兼ねて現地学生と交流会①

私たちは、「チャモロビレッジ」という日本の夜市のような所に行きました。チャモロビレッジはとくにぎやかでした。ここへ来るのをとても楽しみにしていたので、当日に天気が良くて本当に良かったです。安い値段でいろいろな物が売られていて、見て回るだけでも楽しい所でした。

ここでは、最終日のお別れパーティーで着る「パレオ」という民族衣装を買ったり、たくさんのお土産を買ったりしました。そのときに、自分の英語がちゃんと通じたのがうれしかったです。外国の文化を見た感じがして、とてもいい研修になりました。



シーカヤックは、みんなしたことなかったの、友達同士ぶつかっていましたが、みんなにとってはとてもいい経験になり、良かったです。

研修最後の午前中、私たちは、近くのビーチで最後のグアムの海を楽しみました。海は水が澄んでいて、潜ってみるとサングラの周りで色とりどりの魚が泳いでいて、感動しました。英語を教えてくださいました。ピーター先生や水泳を教えてくださいました。ピーター先生も来てくれました。ピーター先生は、私たちのために飲み物やシーカヤックの道具を持ってきてくれました。

たくさんの思い出ができました。

さよならパーティーでは、女子はグアムの民族衣装のパレオを、男子はアロハシャツを着て参加しました。パーティーは、自分たちだけで運営、飾りつけ、出し物も考えました。出し物は4つのグループにわかれて、現地の人たちといっしょに楽しめました。途中で、現地の人たちが、貝殻でできたネットワークをプレゼントしてくれました。

さよならパーティーが終わりに近づき、回数も少なくなってきたころ、現地の人たちが、別れる時の歌を歌ってくれて、感激のあまり泣いてしまふ人もいました。「もうこれで日本に帰らなきゃいけないのか」と思うと、ずっとグアムにいたい気持ちでいっぱいになりました。

6th day

金岡千賀子さん (港南中) 片山咲良さん (港南中)

英語研修を兼ねて 現地学生と交流会②

7th day

西藤逸平さん (港南中) 仙波恵都さん (港南中)

ビーチでの英語研修

7th day

矢野葵さん (港南中) 亀岡千恵さん (港南中)

さよならパーティー

最終夜のさよならパーティー



難しいけどおもしろかったシーカヤック